

# 株式会社クレハ本社別館 安全活動

－ 全員参加の防災活動 －

2020年10月15日  
株式会社クレハ

# 会社概要 (2020年3月31日現在)

株式会社クレハ



どこにも無ければ、  
創ればいい。  
ナケレバ、ツクレバ。

**会社名：株式会社クレハ**

**代表取締役社長： 小林 豊**

**創立： 1944年6月21日**

**資本金：181億6,900万円**

**本社： 東京都中央区日本橋浜町3-3-2**

**グループ会社：連結子会社28社**

**(国内16社、海外12社)**

**従業員数：4,271名 (単体：1,695名)**

**KUREHA**

## 企業理念

私たち（クレハ）は、

- 人と自然を大切にします。
- 常に変革を行い成長し続けます。
- 価値ある商品を創出して、社会の発展に貢献します。

## 社員の行動基準

私たち（クレハ）は、地球市民として  
企業の社会的責任を認識して活動します。

お客様へ：顧客満足を第一に誠意と行動で応えます。

仕事へ：常に進歩と創造にチャレンジします。

常に変化に対応し、グローバルな視野を持って行動します。

仲間へ：相互の意思を尊重しチームワークを発揮します。

## ●機能製品

機能樹脂：ポリフェニレンサルファイド(PPS)、ポリフッ化ビニリデン(PVDF)、  
ポリグリコール酸、マイクロスフェア

炭素製品：炭素繊維、球状活性炭、特殊炭素材料

## ●化学製品

医薬品：慢性腎不全用剤

農薬：農業用殺菌剤、種子消毒用殺菌剤

工業薬品：液体か性ソーダ、精製塩酸、次亜塩素酸ソーダ、  
低食塩次亜塩素酸ソーダ、水素、モノクロルベンゼン、  
パラジクロルベンゼン、オルソジクロルベンゼン、トリクロルベンゼン



## ●樹脂製品

家庭用品：家庭用ラップ、キッチン用品

業務用：食品包装材料、多層フィルム、自動充填結紮機

レジャー関連：釣糸



# クレハと本社別館の歴史

株式会社クレハ

1944年 呉羽紡績より分離・独立  
1953年 塩化ビニリデン樹脂の生産開始

青字：社全体  
赤字：当事業所

**1954年 東京研究所**

**1960年** 〈クレラップ〉販売開始

**東京研究所月島分室（1964年に新宿に移動）**

1977年 抗悪性腫瘍剤〈クレスチン〉販売開始

**1979年 生物医学研究所**

1989年 〈NEWクレラップ〉販売開始

1991年 慢性腎不全用剤〈クレメジン〉を発売

1993年 農業用殺菌剤〈メトコナゾール〉〈イプロコナゾール〉

2005年 呉羽化学工業株式会社から、株式会社クレハに社名変更

**2012年 本社別館：吸着医薬技術センター、安全性研究・評価センター**

PGA米国プラント商業運転開始

**2019年 医療材料研究所、安全性研究・評価センター**

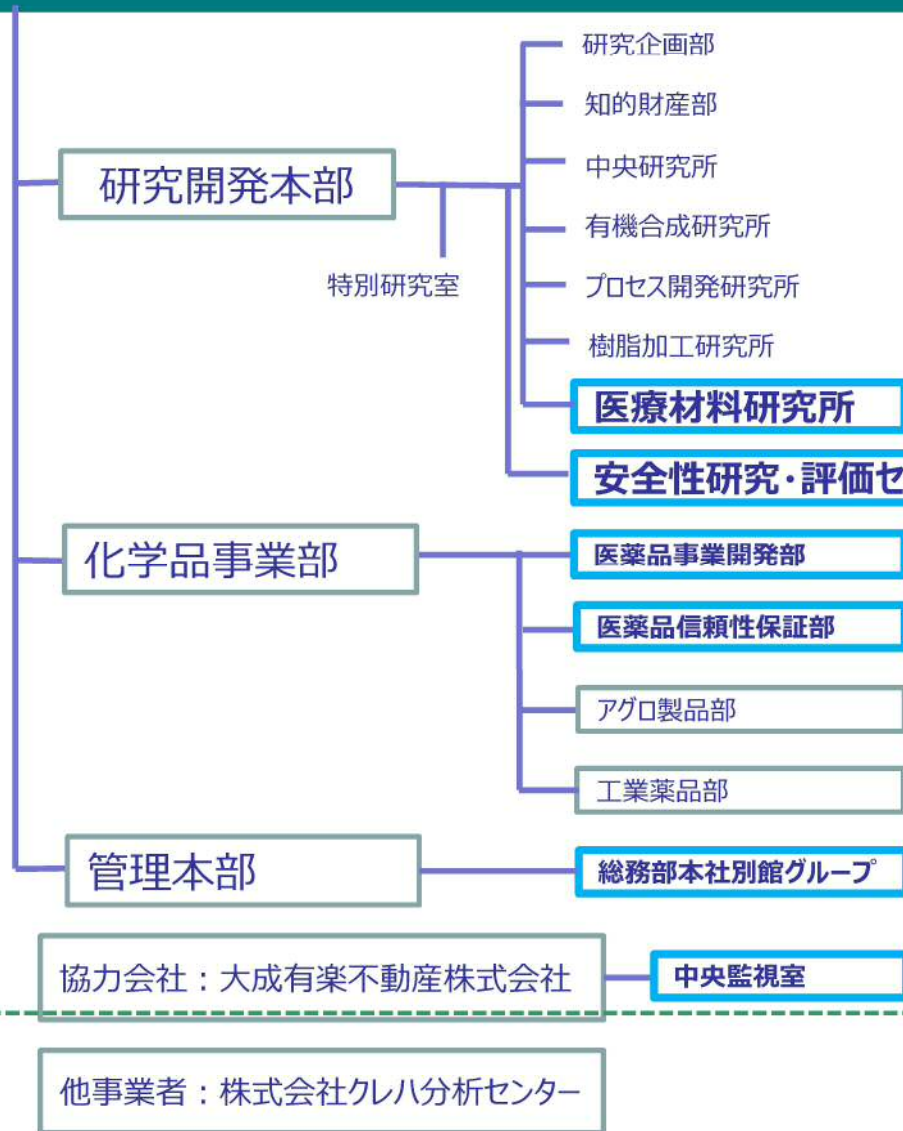
**2020年10月 新宿から福島県いわき市に移転**

KUREHA



# 本社別館の部門構成(2020年3月時点)

株式会社クレハ



## 本社別館

所在地：東京都新宿区百人町3丁目26番2号



本社別館（東京都）

敷地面積 5,900m<sup>2</sup>  
 床面積 9,296m<sup>2</sup>  
 内 管理棟 2,430m<sup>2</sup>  
 内 研究棟 6,613m<sup>2</sup>  
 内 その他 253m<sup>2</sup>

当社従業員 61名  
 (男性32名、女性29名)

協力会社従業員 4名 (常時)

推薦範囲



他事業者従業員13名

**KUREHA**

構成	安全衛生委員長 1名 会社側：産業医 衛生管理者 環境廃棄物管理委員長 薬品委員長 高圧ガス委員長 計5名 組合側：労働組合支部長、支部委員 計5名 事務局： 2名
開催頻度	・ 毎月最終週開催、議事録をファイリング
議題	・ 施設全般の安全衛生に関する協議 ・ 各委員会報告、安全パトロール実施報告 (安全パトロールを毎月実施) ・ 健康診断等がある月の翌月に受診率等を報告

労働安全衛生の面で総合的なチェック機能を有し、常時改善点等を発信

## 安全衛生委員会

組換えDNA実験安全委員会    バイオセーフティー委員会    化学物質安全管理委員会

ヒト由来試料研究倫理委員会    機器管理委員会    RC委員会    動物実験委員会

高圧ガス委員会

薬品委員会

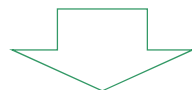
環境・廃棄物管理委員会

**安全に業務を推進する意識を一人ひとりが持つために、  
自主的、積極的に日々の点検及び改善を実践**

責任者に管理のすべてを委任するのではなく、

**全従業員がいずれかの委員会に所属して管理活動に関わるシステム**

このシステムが、底辺から安全の意識を高めている = 安全文化の構築



**やればできるようになる!! (←ナケレバ、ツクレバ) KUREHA**



# 資格取得の奨励

安全基盤

安全文化

株式会社クレハ

安全に対する意識やその背景にある技術・法令への理解を深めるため、各種資格取得を奨励

資格名称	人数	資格名称	人数
博士	8	危険物取扱者	19
放射線取扱主任者	2	有機溶剤作業主任者	10
高圧ガス製造保安責任者	10	特定化学物質等作業主任者	12
CE保安講習修了証明書	1	酸素欠乏危険作業主任者	1
公害防止管理者	2	ガス溶接技能資格者	1
特別管理産業廃棄物管理責任者	4	ボイラー技士	1
廃棄物管理責任者	1	ボイラー取り扱い	1
毒物劇物取扱責任者	11	圧力容器取扱作業主任者	7
獣医師	2	日赤救急法救急員等	1
実験動物技術師	13	知的財産管理技能士	1
バイオ技術者	7	特許管理士	1
上級バイオテクノロジー試験合格者	1	覚せい剤原料研究者指定証	1
薬剤師	9	食品衛生責任者	2
臨床検査技師	1	食品保健指導士	1
衛生管理者	4	栄養士	1
防火管理者	2	包装専士	2

KUREHA

# 全員参加の安全パトロール

安全基盤

安全文化

株式会社クレハ

## 安全パトロール実施状況 (2019年4月～2020年3月)

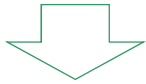
月 度	実施日	テーマ
2019年 4月度	4/8	表示・安全チェックリスト・コード類
2019年 5月度	5/9	衛生性全般
2019年 6月度	6/7	整理整頓・避難経路
2019年 7月度	7/10	出入口・整理整頓・照明
2019年 8月度	8/1	電源管理・空調温度
2019年 9月度	9/5	避難誘導表示・防災用具・避難経路
2019年10月度	10/3	安全チェックリスト・服装。保護具・異音
2019年11月度	11/7	消火器・整理整頓・防火扉
2019年12月度	12/10	整理整頓・廃棄物
2020年 1月度	1/8	点検口前・コード類
2020年 2月度	2/6	転倒・作業環境
2020年 3月度	3/5	消火器・避難通路



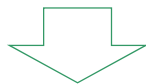
パトロールチームのメンバーは、従業員から所属、年齢、役職問わずランダムに指定  
班長1名・班員3～5名で構成 **全員が1年に1回以上参加**

KUREHA

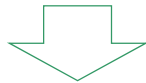
## 2013年に他事業所で人身事故が複数発生



全社的に人身事故撲滅の取り組みを実施  
本社別館においても、各部署から計11名を選任し、  
**人身事故撲滅委員会設置**



- 約1年をかけて、KYT（危険予知トレーニング）を実施し、リスクを分析
- 危険予知に関する情報整理と共有化



危険リスクについて、

- 従業員の行動面での危険リスク：研究および日常業務の中でのリスクと回避するためのマニュアル（冊子）を作成して周知すると共に、再教育を実施
- 施設面での危険リスク：2014年から順次改善を実施



# 人身事故撲滅委員会の取り組み

安全基盤

株式会社クレハ



外構工事  
舗装修理工事  
施工前



外構工事  
舗装修理工事  
完了

再舗装によるアスファルト表面の  
凸凹（上）の解消（下）



廊下の曲がり角の  
床面への注意喚起シール  
貼付による衝突防止



通用口の段差解消

蓄光テープによるスイッチ場所提示



スイッチ周囲への蓄光テープ  
貼付によるスイッチ場所提示



押し扉への  
閉鎖注意シールの貼付



重い鉄扉の搬入口への  
ストッパー設置

KUREHA

## 教育・訓練

防災に関する教育、訓練  
バイオセーフティ、高圧ガスに関する教育  
GLP職員の教育  
研究業務に関連した研修には社内講師又は外部講師を都度招聘

## 開催頻度

原則、毎月1回

**この取り組みを、6年以上継続**





- 東京都高圧ガス防災協議会一般ガス部会城西支部の役員を務め、毎年東京都の防災訓練に参加
- 「保安レベルの維持向上への取組みについて」と題して、高圧ガス保安協会誌『高圧ガス』の2019年3月号に寄稿し、社外への情報発信
- 新宿区自衛消防審査会への参加等を通じて、地域と連携



## ■ 自衛消防隊編成

本 部		班							
		役割	消火	薬品	高圧ガス	伝令	避難誘導	救護	
本部長 1名 副本部長 3名 本部長付 4名	隊長 1名	班長	1名	1名	1名	1名	1名	1名	
	副隊長 2名	副班長	1名	1名	1名	1名	1名	1名	
	指揮班 5名 中央監視室員 5名	4階	1名		1名			2名	1名
		3階	1名		1名			2名	2名
		2階	1名	2名	1名	2名		2名	2名
		1階	1名		2名			3名	2名
		地階	1名		-			1名	

火災や自然災害等が発生した時には速やかに活動

## ■ 防災備品

在籍者が3日間会社に滞在できる備品、食料、飲料を備蓄

東日本大震災時には、帰宅困難者に対し活用

食料・飲料備蓄品は賞味期限前に更新

更新時には廃棄せずに従業員へ配付し、食品ロスを低減

東日本大震災時の教訓を生かし、事業継続計画（Business Continuity Plan）の中で、**安否確認システム**を導入

地震発生(震度5弱以上)又は大型台風



従業員の携帯電話やPCにメール送信



従業員が本人、家族、家屋の状況を入力し、安否情報を登録



本社災害対策本部で情報収集集約して対応

**全社のシステムであるが、事業所ごとにも運用可能  
いざというときのために休日、夜間も含め事業所独自に訓練**



# 表彰履歴

株式会社クレハ

- 平成 7 (1995)年 : 東京都清掃局長感謝状  
平成10 (1998)年 : 新宿警察署長新宿防犯協会会長感謝状  
新宿労働基準監督署長表彰  
東京消防庁新宿消防署長表彰  
平成12 (2000)年 : 東京消防庁新宿消防署長感謝状  
平成13 (2001)年 : 東京消防庁予防部長表彰  
平成14 (2002)年 : 東京消防庁新宿消防署長表彰  
平成15 (2003)年 : 東京消防庁新宿消防署長表彰  
平成17 (2005)年 : 電気安全関東委員会表彰  
平成18 (2006)年 : 東京消防庁予防部長表彰、東京消防庁新宿消防署長表彰  
平成19 (2007)年 : (社)日本化学工業協会「無災害事業所」確認証 (以後、継続)  
東京消防庁新宿消防署長表彰  
平成20 (2008)年 : 東京都知事賞表彰  
東京都高圧ガス保安協会表彰  
東京消防庁消防総監表彰  
平成25 (2013)年 : 高圧ガス保安協会会長表彰  
東京都高圧ガス保安協会会長表彰  
新宿防火管理協会会長及び東京消防庁新宿消防署長感謝状  
平成27 (2015)年 : 東京都知事感謝状  
東京消防庁新宿消防署長表彰及び感謝状  
平成28 (2016)年 : 東京消防庁新宿消防署長表彰  
平成30 (2018)年 : 東京消防庁新宿消防署長表彰及び感謝状  
平成31 (2019)年 : 高圧ガス保安協会会長表彰  
東京消防庁新宿消防署長表彰

KUREHA

休業災害発生件数： 0件

記録を取り始めた1997年1月から2020年3月まで

日ごろからの全員参加の防災活動が、  
安全基盤の安定化、安全文化の定着を進め、  
この成果につながったと考えています

事業所は移転しましたが、引き続き活動を継続し  
安全な職場形成を進めます